

コロナで外出控え、自宅でするゲームが増え… 子どものオンラインゲーム課金のトラブルを防ぐには？

「おうち時間」にスマホ、タブレット、家庭用ゲーム機でオンラインゲームを利用して過ごす中で、小中学生の子ども達が保護者の許可なく課金してしまったというトラブルが急増しています。

【相談事例からみる特徴と問題点】

- ① **保護者のアカウントが登録されたスマホ端末や、保護者用のアカウントでログインした家庭用ゲーム機を子どもに渡して使わせていた**
☞ 民法で定められた未成年者取消権によって契約の取消しができるが、オンラインゲームの場合、子どもが課金した証明が難しく、取消しが認められないケースがある。
- ② **決済時のパスワードを入力せずに決済できる設定にしていた**
☞ 原則、アカウントのIDとパスワードが必要だが、パスワード不要の設定や、簡単に子どもが真似できるような設定では、クレジットカードの管理が十分でなく、登録したクレジットカード情報がいつでも利用できてしまい、知らぬうちに課金してしまう。
- ③ **決済完了メールを見落としていたため、課金に気づけなかった**
☞ 課金を行った場合、事前に登録したメールアドレスに決済完了メールが届く設定ができるが、メールを見落としたりすると、気づかないまま高額な請求がくる。また、子ども自身が、親に見つかる前にメールを削除していた事例もある。
- ④ **子ども自身にお金を使っているという認識がない**
☞ 子どもがキャリア決済のことを正しく理解していないケースや、課金したことを理解できていないケースがある。「子どもはお金のことを理解していないので、課金するわけがない」と思っているにもかかわらず、パスワードが設定されていない場合は、画面をタップするだけで簡単に課金できてしまう。

【保護者へのアドバイス】

子どもは、保護者に気づかれずに課金する方法をWebサイトや動画で、自分で調べることもあります。オンラインゲームで課金する場合のルールを家族内で話し合いましょう。保護者の許可なく課金してしまわないように、保護者のアカウントを利用させるのは避けましょう。保護者の方はアカウント、パスワード、クレジットカードの情報をきちんと管理し、決済の状況を確認できるようにしましょう。

[令和3年8月 国民生活センター 公表]

消費生活相談のことなら・・・

- 岐阜県県民生活相談センター 058-277-1003
- 輪之内町消費生活相談窓口(住民課) 0584-68-0185
- 消費者ホットライン ^{いやや} ☎188